

頼タルガ爲ニ慮ル勿レ蓋シ明日ノ事ハ明日之ヲ慮レ一日
ノ勞ハ一日ニ足ル(マコト四イ六)

「爾等ハ天父此レ嘗爾需ムル所ノモノナルヲ知ル」(同上三)

問所ノ需ムル糧ヲ云ルヲ以テ他ニ講求スベキモノアラズヤ

答人ハ身靈ヨリ有ル而シテ靈魂ノ本體肉身ニ比スレバ至貴

至重タルカ故靈魂ノ爲ニ亦所ノ需ムル糧ヲ求ムルヲ得且必

至重タルカ故蓋シ是ナクハ内部ノ人餓テ死スル

ニ至ラゾトス(イコト五、正教宗門中篇十九問答参考四ノ)

問靈魂ノ所ノ需ムル糧ハ何ツヤ

答神ノ言及ビ「リストス」ノ體血是ナリ

「人獨リ餅ヲ以テ生ルルニミナラズ乃チ神ノ口凡ソ出ス所

ノ言ヲ以テス(マコト四イ)

「我肉誠ニ食フベキモノ我血誠ニ飲ムベキノモノナリ」

(イコト五、正教宗門中篇十九問答参考四ノ)

○第五求望

問主ノ祈禱ニ「我諸負」ト云ルは何ノ意ヲ示スヤ

答我等ノ罪ヲ稱スルヤ申シテ其罪ノ重キヲ示ス

問何爲罪ヲ負ト稱スルヤ申シテ其罪ノ重キヲ示ス

答蓋シ我等萬事神ニ稟ケシカ故亦萬事神ニ返納セザル可

ラス即チ萬事神ノ聖旨ト其法律ニ従ハザルベカラズ若

シ之ヲ傲シ行ハザレバ則チ神ノ公義ノ前ニ負債者タル

ヲ免レザルナリ

問「我等ニ負フ者」ハ何人ナラヤ

答神律ニ由テ必ク我等ニ對シテ拂ラベキモノヲ拂ハサル
 ノ人ナリ例ヘバ慈愛ヲ顯サズシテ怨仇ヲ成スモノ、如
 キ是ナリ
 問神ノ義審判ノ時我等何ヲ倚ンテ自己ノ負債ヲ免カレ、
 答得ルキヤ
 答「神ニスルコトスノ中保ヲ以テス
 「神ニ唯一且神ト人トノ間、中保亦一乃チ人ナリ即チイ
 「六五」
 問我等神ニ自己ノ罪ノ赦ヲ求メ而シテ他人ノ過失ヲ赦サ
 答我等モ亦罪ノ赦ヲ獲ザルナリ

「爾等若シ他人ノ過ヲ免サバ則チ爾ノ天父モ亦必ク爾ノ過
 亦必ク爾ノ過ヲ免サズ」(マトフエイ六)
 問「我等若シ他人ノ過ヲ免サレバ神我過ヲ免サレハ何
 故ゾ」
 答蓋シ我等他人ノ過ヲ免サレバ則チ自ラ無慈悲ノ惡徒
 問「我等モ我等ニ負フ者ヲ免スカ如ク」ト云ル語ハ祈禱者ヨ
 答斯ノ言ハ祈禱者心中ニ怨仇忿怒ヲ懷クナク唯和平友
 愛ヲ以テ衆ヲ待スルヲ要求ス
 「爾若シ禮物ヲ獲ニ携ハ彼ニ在テ爾ノ兄弟ト爾ト隙アル

一、其體ハ、爾チ爾ノ禮物ヲ披前ニ置テ狂喜先以兄弟ト相
 和シ然後來テ爾ノ禮物ヲ獻セヨ（マコト三十五）
 簡然レハ我若シ速ニ服アズ者ヲ相視ルチ得ズ或ハ彼シ若
 シ我ト和スルノ意アラザルキハ則チ何チ爲シテ可ナル
 ヤ
 答斯ル場合ニ於テハ視ザル所ナキ神ノ目前ニ於テ心中彼
 ト和シテ可ナリ
 「若シ或ハ爲スベシハ則チ爾ノ力ヲ竭シ衆人ト相和セヨ
（ロマ十三）
 第六求望
 問主ノ祈禱ニ「誘惑」ト云ヘルヲ以テ何ノ意ヲ示スヤ
 答信心ヲ失ヒ或ハ重罪ニ陥ラントスルノ至極危殆ノ情態

チ謂フナリ
 問斯ル誘惑ハ何ニ由テ生ズルヤ
 答我等ノ肉身ニ由リ又世俗即チ他人ニ由リ及ビ惡魔ニ由
 ル
 問我等チ誘惑ニ導ク勿レト云ル祈禱ヲ以テ何チ求ムベキ
 ヤ
 答第一ニ神我等チシテ誘惑ニ陥ルチ容サバル事第二ニ神
 若シ誘惑ヲ以テ我等チ試鍊シテ心ヲ淨ムルヲ要セバ則
 チ我等チ全然誘惑ニ付與スルチ我等チテ論亡ニ陥
 ラシメザル事ヲ求ムベシ
 ○第七求望
 問我等チ拯フテ惡ヨリ出セト云ル祈禱ヲ以テ何チ求ムベ

答初人罪ヲ犯セシ以來「舉テ惡ニ服スルノ世界」(イナブ十ニ九)
 〇在テ凡ソ我等ニ感觸スル所ノ惡ヨリ拯ヒ出スヲ求メ
 殊ニ罪惡ト姦惡ト蠱即業惡魔ノ姦計ヲ其誘惑ヨリ拯ヒ
 出スヲ求ム以テ其惡ヲ除クニ心ヲ盡スルヲ求ム
 答 〇讚揚 讚揚ニ由リテ其惡ヲ除クニ心ヲ盡スルヲ求ム
 問主ノ祈禱ノ中ニ讚美ノ詞ヲ添合シタルハ何ゾヤ
 答第一ニ我等自ラ在天ノ父ニ哀憐ヲ求メ之ニ至當ノ崇敬
 ナ献スルカ爲ナリ第二ニ在天ノ父ノ永遠無疆ノ國權能
 光榮ヲ思想シ益々希望ヲ堅クシテ而シテ我求ムル所ニ在天
 ノ父ニ必ズ賜ハシト期シテ疑ハザルカ爲ナリ蓋シ我求ム
 ル所ノ者皆其權能ニ屬シ其光榮ニ關スルヲ以テナリ

問「ア」云ルハ何意ゾヤ 其意ニ我ニ祈ルニ心ヲ盡スルヲ求ム
 答譯スレバ則テ實ニ若クハ斯ク成ラントノ義ナリ
 問何爲此語ヲ讚揚シ終尾其辭久シキヲ撰ムニハ何ゾヤ
 答是ヲ以テ使徒イアコフノ誨ルカ如ク祈禱ヲ爲スニ誠ニ
 信シ凡ソ疑團ヲ抱クコトヲ戒ルニ示ス(ハ六章)ニ示ス
 一〇幸福ノ教訓 天ノ父ニ我ニ哀憐ヲ求メ之ニ至當ノ崇敬
 問吾人救贖及ヒ幸福ヲ獲ントスルノ希望ヲ固ウセシムコトハ
 祈禱ノ外復テ何ヲ要スルヤ
 答幸福ヲ獲シムコトハ自己ノ功德ヲ要ス
 主自ラ此事ヲ謂テ曰ク「爾等何シ我ヲ主ヨト稱シテ
 我言フ所ヲ行ハザルヤ」(ルカ六ノ四十六)
 「凡ソ我ヲ稱シテ主ヨト曰ク者未必シモ尽ク天國ニ

入ヲズ唯我カ天父ノ旨ニ遵フ者ハ入ラシムル(セハトセエ)

問此功德ニ引導スルノ教訓ハ何ヤ
答我主イエスキリストト大簡約ニ述ラレタル幸福ノ

訓言是ナリ
問此訓言ハ幾何ヤ
答左ノ九箇條ナリ

一 虚心ナル者ハ福ナリ天國ハ乃チ其國ナルヲ以テナリ

二 哀憐スル者ハ福ナリ其將ニ慰テ受ケメトスルヲ以テ

三 温柔ナル者ハ福ナリ其將ニ土ヲ得ントスルヲ以テナ

四 飢渴義ヲ慕フ者ハ福ナリ其將ニ飽テ得ントスルヲ以

テナリ

五 矜恤スル者ハ福ナリ其將ニ矜恤セラレントスルヲ以

テナリ

六 清心ナル者ハ福ナリ其將ニ神ヲ見ントスルヲ以テナ

七 和平ヲ施ス者ハ福ナリ其將ニ稱シテ神ノ子ト爲ラシ

トスルヲ以テナリ

八 義ノ爲ニ迫害ニ遭フ者ハ福ナリ天國ハ乃チ其國ナル

ヲ以テナリ
九 我カ爲ニ爾等ヲ詭詐シ爾等ヲ迫害シ且諸惡ヲ妄言
シ以テ爾等ヲ誘フハ則チ爾等福ナリ爾等宜シク欣喜歡
樂スベシ天ニ在テ爾等得ル所ノ賞大ナルヲ以テナリ

問主ハ哀憫ナル者ニ何ヲ許約スルヤ

答彼等將ニ慰ヲ得ルハ何ゾヤ

問茲ニ所謂慰トハ何ゾヤ

答恩慰即チ罪ノ赦及良心ノ和平ヨリ出ルモノナリ

問此許約ヲ哀憫ノ誠命ニ相合スルハ何ゾヤ

答人己ノ罪ヲ憂愁シテ遂ニ絶望ノ域ニ陥ラザランカ爲ナ

○幸福ノ第三誠命

問主吾人ニ幸福ヲ獲セシメシガ爲ニ命スル所ノ第三誠命ハ

何ゾヤ

答幸福ヲ望ム者ハ「溫柔ナル者」タラザルベカラズ

問「溫柔」トハ何ゾヤ

答心ヲ和靜平安ニシ恒ニ謹慎傲戒シテ人ヲ怒ラズ又事々

物々恣情ヲ發セザラントスルヲ謂フナリ

問「ハリステイアコン」溫柔ノ特別ナル舉止動作ハ何ヲ以テ顯

ルヤ

答神ヲ怨ミズ人ヲ尤メズ我カ所望ニ反スルコトアリト雖モ

忿怨セズ傲慢セザル等ナリ

問主ハ溫柔ノ者ニ何ヲ許約スルヤ

答彼等將ニ土ヲ得ントス

問此許約ノ意如何

答此許約ハ言葉通リ総體ハリステイアコンノ後嗣ニ關シテ應驗

セシ預言ナリ蓋シ平生温和和靜ノ「ハリステイアコン」異邦

人ノ過激忿怒ニ遭フテ絶滅セラルベキコト却テ昔異邦人

ノ領有セシ普天下ヲ繼ク至レリ
然ルニ此特許ノ深意ハ總體ハハリステ「ア」ニ就テ云フ
ハ聖詠者ノ言ルカ如ク「生命ノ地」(詩篇二十六)ニ
彼ニ在テ生活シ而シテ死セズ即チ永遠無疆ノ安樂福祉ヲ
享クルヲ謂フナリ

○幸福第四誠命

問主吾人ニ幸福ヲ獲セシメシカ爲コ命スル所ノ第四誠ハ
何ツヤ

答幸福ヲ望ム者ハ「饑渴義ヲ慕フ者」ラザルベカラズ

問茲ニ「義」ト云ヘルハ何意ツヤ

答此稱ヲ以テ凡ソ「ハリステ」ノ須ク仰慕スル食飲ヲ
嗜ムカ如クセザルベカラザルル人善徳ヲ謂フト雖ハ殊更

「ダ」ニ「預言書」ニ言フ所ク「義」ヲ指テ曰ク「永遠ノ義」
ハ「即チ神前ニ罪ヲ負フ者」ガ「イ」ニ「事ナリ」
在テ「恩寵」及「信」ニ由テ「義」トセラルル、
使徒「パウロ」此義ヲ謂フテ曰ク「神」ノ義「イ」ニ「事ナリ」
「九ノニ」

「ス」チ「信スル」ニ由テ「其凡信者」ニ「臨ミ」且「凡」ソ「信者」ニ「在」リ「區」
「別」ナキニ「線」ル「蓋シ」衆己ニ「罪」ヲ「獲」テ「神」ノ「榮」ヲ「缺」ク「乃チ」ハ
「リ」フ「ト」ス「イ」ニ「ス」ル「體」ニ「賴」リ「神」ノ「恩」ニ「由」リ「功」無「ウ」シ「テ」
「義」ト「稱」セ「ラル」ル、
「乃チ」其「血」ヲ「信スル」ニ由テ「神」ノ「義」ヲ「彰」ハ「ス」チ「致」ス「チ」得「己」
「往」フ「罪」ヲ「赦」ス「コ」線「テ」ナ「リ」(「ロ」マ「三」
「二」
「六」
「二」)
問「饑渴義」ヲ「慕」フ「者」ハ「誰」ツ「ヤ」
答「好」ソ「テ」善「行」ヲ「爲」シ「自」ラ「義」ト「セ」ズ「自」己「ノ」善「行」ニ「賴」ラ「ズ」唯

己ヲ神前ニ罪アリ愆アル者ト承認シ而シテ懇望ヲ以テ信
ノ祈禱ヲ以テイエスキリストスニ頼リ恩寵ニ由テ義
ト稱セラレ、コトヲ靈ノ食飲ノ如ク切ニ饑渴スル者ヲ云
フナリ

問主ハ饑渴義ヲ慕フ者ニ何ヲ許約スルヤ

答彼等「將ニ飽ヲ得ントス」

問「飽」ト云ルハ何意ゾヤ

答是レ肉體ノ飽足ニ比喻シテ謂フ夫レ肉體ノ飽足ヲ得ル
ヤ第一ニ饑渴ノ感覺ヲ止メ第二ニ飲食ヲ以テ身体ニ勢
力ヲ附スルナリ靈魂ノ飽足モ亦然リ首トシテ神ニ哀憐
ヲ祈ル罪人ノ衷心ヲ安ラシメテ之ニ善徳ヲ爲スノ勢
力即チ人ヲ義ト稱スルノ神恩ニ由テ賦與セラレ、所ノ

者ヲ獲セシム然レモ永遠不究ノ安樂福祉ヲ消受セシム
爲ニ造ラレタル靈魂ノ全ク飽足ヲ得ルハ永生ヲ嗣クニ
アルナリ聖詠者ノ訓言ニ曰ク「我爾ノ容ヲ以テ自ラ饜足
ラシ」(詩篇十五十六)

○幸福ノ第五誠命

問主吾人ニ幸福ヲ獲セシメンカ爲ニ命スル所ノ第五誠命
何ゾヤ

答幸福ヲ望ム者ハ「矜恤スル者」タラザルベカラズ

問此誠命如何シテ做行スベキヤ

答有形矜恤神靈矜恤ノ二徳ヲ以テス蓋シ聖金口ノ曰ルカ
如ク「矜恤ノ方法タル種々各様其誠命タル潤大無邊ナリ」

トフニ
十五ノ説法

問有形矜恤ノ善徳ハ何ツヤ

答一饑者ニ食ニシムルニシテ
 二渴者ニ飲ニシムルニシテ
 三裸者即チ人生不可缺ノ衣服ニ窮スル者ニ衣スル
 四困圍ニ墜ルニシテ者ヲ願ル
 五病者ヲ看護シ之ヲ介抱シ百方以テ其全快ヲ計リ或ハ
 危急ノ時ハ「ハリズライアニシ」ニ相應スルノ準備ヲ爲シテ
 死ニ就シムル
 六旅人ヲ家中ニ接シ休息セシムル
 七貧窮ニシテ死セシ者ヲ埋葬スル
 問神靈矜恤ノ善徳ハ何ツヤ
 答一罪人ヲ説諭シテ「其惡道ヨリ反正セシムル」
 (イアニコフ)

二未開愚蒙ノ者ニ眞理善徳ヲ識ラシムル

三隣人困難ニ罹リ或ハ自ラ危険ノ至ルヲ覺ラザルキハ

之ニ良謀ヲ授テ斯ル場合ヲ免レシムル

四隣ノ爲ニ神ニ祈ル

五憂鬱者ヲ慰撫スル

六他人我ニ對シテ惡ヲ爲スニ報復セザル

七心中ヨリシテ凌侮侵辱ヲ赦宥スル

問公義ニ由テ罪人ヲ罰スルハ則チ矜恤ノ誠命ニ相反スル

答職分ニ依リ及罪人ヲ改良セントノ好意ヲ以テ或ハ其犯

罪ヨリ無辜ノ人ヲ保護セントノ善心ヲ以テ刑罰ヲ行フ

問六毫モ誠命ニ相反セザル

問主ハ矜恤ノ者ニ何ヲ許約スルヤ

答彼等「將ニ矜恤ヲ蒙ラントス」

問茲ニ言フ矜恤ハ何ヲ指スヤ

答神ノ審判ノ時罪惡ニ由テ永遠ノ定罪ニ係ルヲ矜恤セラ

ルハノ謂ナリ

○幸福ノ第六誠命

問主吾人ニ幸福ヲ獲セシメンカ爲ニ命スル所ノ第六誠ハ

何ゾヤ

答幸福ヲ望ム者ハ「清心ナル者」ヲラザルベカラズ

問清心ト云ルハ丹心ト同義ニ非ズヤ

答丹心實直ニシテ心ニ無キテ假裝セズ唯心中ニアル美善ノ

志趣ヲ善行ニ現スル抑モ清心ノ徳ノ下等ナリ此徳ノ高

點ニ達セント欲セバ恒久忍耐ニシテ傲醒豫防ヲ嚴ニシ心

中ヨリ凡ソ不正ノ希望思想及ビ凡ソ塵世ノ事物ニ抱泥

スルノ偏情ヲ絶テ而シテ信愛ヲ以テ神ナル主イイススハ

リストスヲ不斷心ニ記シ暫時ト雖モ之ヲ忘ルハナキヲ

要ス

問主ハ清心ナル者ニ何ヲ許約スルヤ

答彼等「將ニ神ヲ見ントス」

問此許約ノ意義ハ如何

答聖書ハ人心ヲ眼目ニ喩ヒ完全タル「ハリスティアニシテ稱

シテ」心ノ目明ヲ得タリト記ス(エフエス一ノ十八)「潔淨ノ目能ク光

ヲ視ルカ如ク潔白ノ心亦能ク神ヲ視ル抑モ神ヲ直視ス

ルハ永遠ノ安樂幸福ノ源泉タルカ故ニ神ヲ見ントスル

ノ許約ハ永遠ノ安樂幸福ノ上等ニ位スルモノナリ

○幸福ノ第七誠命

問主吾人ニ幸福ヲ獲セシメンカ爲ニ命スル所ノ第七誠命

何ツヤ

答幸福ヲ望ム者ハ「和平ヲ施ス者」タラザルベカラズ

問此誠命如何ニ行フベキヤ

答我等衆ヲ待遇スルニ友愛ヲ以テスベシ而シテ能ク意ヲ注

キ不和ノ發端トナルノ事故ヲ起スナキヲ要ス偶々不和

ノ生スルアラバ假令我權利ヲ讓ルト雖モ若シ唯職務ニ

悖リ又ハ他人ヲ害スルコトナクシバ宜シク盡力シテ之ヲ

鎮靜スルニシテ又他人相互ノ仇怨ト雖モ力ノ及ブ丈ケ勉テ

和睦スルヲ謀リ若シ力足ラザルモハ彼等ノ和平セシム

ナ神ニ祈ルベシ

問主ハ和平ヲ施ス者ニ何ヲ許約スルヤ

答彼等ハ「神ノ子ト稱セラレントス」

問此許約ハ何ノ意ヲ示スヤ

答是レ和平ヲ施ス者ノ功德ノ大ナルト神斯人ノ爲ニ準備

シタル獎賞ノ高等ナルトヲ示ス而シテ其功德ハ神ノ獨生

ノ子地ニ降テ罪人ヲ神ノ公義ト和セシメタルニ模倣ス

ルカ故神ノ子タルノ思名ヲ許約セラル然リ而シテ此幸福

タル固リ此名ニ適應シタル者ナルハ疑ヲ容レザルナリ

○幸福ノ第八誠命

問主吾人ニ幸福ヲ獲セシメンカ爲ニ命スル所ノ第八誠命

何ツヤ

答幸福ヲ望ム者ハ「義ノ爲ニ迫害ニ遭遇スルモ」素志ヲ易ヘ
 ズシテ之ヲ忍受セザルベカラズ
 問此誠命ニ如何ナル性質ヲ要スルヤ
 答義ヲ愛慕スルコト善徳ニ恒久堅牢ナルコト眞理徳善ヲ肯テ
 變易セザルコト依テ禍難危殆ニ遭遇スルアルキハ剛毅忍
 耐ヲ以テ百折撓マザルヲ要ス
 問主ハ義ノ爲ニ迫害ニ遇フ者ニ何ヲ許約スルヤ
 答「天國」ナリ是レ彼等窘迫ニ罹リテ失ヒシ者ヲ補フ者ニシ
 テ猶虚心ノ者ニ許約スルコト幸福ヲ以テシテ不足欠乏ノ
 感情ヲ満足セシムルカ如シ
 ○幸福ノ第九誠命
 問主吾人ニ幸福ヲ獲セシメンカ爲ニ命スル所ノ第九誠ハ

何ゾヤ

答幸福ヲ望ム者ハ「ハリストス」ノ名ノ爲メ眞實ナル正教ノ
 爲メ欣然トシテ詭譎迫害禍難及ビ死ヲ受ケザルベカラ
 ズ

問此誠命ニ於テ要スル所ノ功德ヲ稱シテ何ト云フヤ
 答致命ノ功德ト稱ス

問主ハ此功德ノ爲ニ何ヲ許約スルヤ

答「天ニ於テ大ナル賞」ヲ約ス即チ特別高等ノ安樂幸福ナリ

「兄弟ヲ愛セザル者ハ則チ死ニ居ル」(イテア十四)

「我兄弟ヤ人自ラ信アリト謂ヒ若シ行ナクハ何ノ益カ之レ有ラン信能ク之ヲ救フヤ蓋シ身靈ナクバ乃チ死スルカ如ク信行ナクハ亦死スルナリ」(イテア十四)

問以上ノ言ト相反シテ信ナク唯々愛及ビ善行而已ニシテ救ヲ獲ルヲ能ハザルヤ

答神ヲ信セザルノ人眞ニ神ヲ愛スル能ハズ且罪ニ傷害セラレシ人若シイイススハリストスチ信スルニ因テ神靈ノ能力即チ神恩ヲ享ルニ非レバ焉ク能ク眞ニ善行ヲ爲スチ得ン

問「信ナクハ則チ神ニ悦ハル、能ハス蓋シ神ニ就ク者ハ必ス其有チ信シ且其必ス凡ソ之ニ求ムル者ヲ賞スルチ信

ズベキナリ」(エケレ六)

「凡ソ律法ノ功ニ由ル者ハ詛ニ服ス蓋シ録ニ曰ルアリ恒ニ律法ノ書ニ載スル所ニ違テ以テ盡ク之ヲ行ハサル者ハ呪詛ナリ」(三ガラ十)

「我等靈ヲ以テ望ム所ノ者ヲ俟ツ即チ信ニ由テ義ト稱セラレ、テ得ルナリ」(五ガラ五)

「爾等恩ヲ以テ赦ヲ得ルハ信ニ由ル己レニ由ルニ非ズ乃チ神ノ賜ナリ功ニ由ルニ非ズ誇ルベキ無キヲ致ス」(エフエ九ノ八)

問善行ト相伴ハザル所ノ愛ハ如何ニ看做ス可キヤ
答斯ル愛ハ眞實ノ愛ニ非ズ蓋シ眞實ノ愛ハ自然ニ善行ヲ表ス

「イスラエルに於て我は神に誓ひて曰く我は神に有する而して之を守らん。此人即ち我を愛する者なり。人若し我を愛せず則ち必ず我言を守らん。」(イサヤ三十四)

使徒「イサヤン書」曰く「神の誠を守らん。是れ乃ち神を愛するなり。」(イサヤ三)

「我等相愛するは言ふ以てする勿レ舌を以てする勿レ宜し。行ふ以てするべし。」(イサヤ三十八)

○神律は誠命

問我等善行と悪行を識別判断するの方法は何ゾヤ

答内心の神律即ち良心の證據ナリ。及外部の神律即ち神の誠命是ナリ。

問聖書に内心の法律ヲ云ルヤ

答使徒パウロ異邦人ノコトヲ謂テ曰ク「彼等律法ノ正其心ニ銘スルヲ表彰シ其良心亦之ヲ證チ爲ス而シテ其思慮ノ中互ニ褒貶ヲ寓スルナリ。」(ロマ十二)

問人々内心ノ法律ヲ自己ニ有スルアラハ亦外部ノ法律ノ授ラレシハ何爲ゾヤ

答其授ラレシ所以ハ人々既ニ内心ノ法律ヲ聽カズシテ肉情罪惡ノ性行ヲ放縱シ心靈ノ法律ノ聲ヲ壓セシカ故ニ誠命ヲ設テ以テ現ニ律法ヲ記憶セシムルハ必要ノコトナレリ

「法律ハ何爲ゾヤ罪愆ニ縁テ設ラル」(ガラテヤ三十九)

問何ノ時如何シテ人々ニ外部ノ神律ハ授ラレシヤ

答アラムノ裔ナルニウレバ民奇跡ニシテエギ地ト人

ノ奴役ヲ釋カレ不羈自由ヲ得テ約地ニ趣クノ途中曠野
 ニアルシナイ山ニ於テ火焰雲中ノ間ニ神自ラ其存在ヲ
 顯ハシイストライル民ノ首長モイセイヲ以テ法律ヲ授ケ
 タリ

問此律法ノ大要總體ノ誠命ハ何ゾヤ

答左ニ揭ル十誡ニソ之ヲ二三ノ石板ニ銘記ス

一我ハ乃チ主ナル爾ノ神ナリ我ノ外別ニ爾ノ神アルナ
 シ

二偶像ト凡ソ上天下地地下ノ水中ニアル者ノ像ヲ造ル
 勿レ爾チ之ニ跪拜服事スル勿レ

三妄ニ主ナル爾ノ神ノ名ヲ稱スル勿レ

四宜シク安息日ヲ記シ之ヲ聖ニセヨ六日間ハ宜シク勞

シテ爾ノ諸工ヲ作スベシ第七日ハ乃チ主ナル爾ノ神ノ
 安息日ナリ

五宜シク爾ノ父母ヲ敬スベシ福祥爾ニ臨ミ而ノ地ニ在
 テ壽命スルヲ致サシ

六人ヲ殺ス勿レ

七姦淫スル勿レ

八偷竊スル勿レ

九爾ノ隣ニ妄證スル勿レ

十隣ノ妻ヲ戀フ勿レ隣ノ屋宅其田莊僕婢牛驢及ヒ凡ソ
 家畜并ニ凡ソ隣ノ所有物ヲ貪ル勿レ(エギハト出記)

問此レイスライル民ニ授ラレタル誠命ナルモ我等之ヲ遵
 守スベキヤ

答必ス遵守セザルヘカラス蓋シ其誠命ノ精神ヲ論セバ使徒パウロノ所謂萬人ノ「心ニ銘スル」ノ律法コレヲ萬人是ヲ進行スベキ所ノ者ナリ

問 イイヌスハリストス十誡ヲ遵守スベキヲ誨ヘラレシヤ
答 永生ヲ得ンコハ十誡ヲ恪守スベキヲ命ス且イイヌスハリストスノ降生前人々是誠命ノ意ヲ領會セシヨリモ一層完全ニ之ヲ領會シ之ヲ爲行スベキヲ誨ヘラレタリ

(マテフエイ十九章参考)

○誠命ヲ二ノ石板ニ區別スル

問 十誡ヲ以テ二ノ石板ニ區別セシハ何意ゾヤ
答 此誠命ニ愛ノ二様ヲ含有スルヲ示ス即チ神ニ對シ及ヒ隣ニ對スルノ愛ナリ故ニ亦職務ノ二類ヲ命ス

問 是事イイヌスハリストス言ヒシコアラズヤ
答 律法ノ中何ノ誡ヲ以テ至大ト爲スヤト問フ者ニ答テ曰ク「爾必ス心ヲ盡シ性ヲ盡シ意ヲ盡シテ主ナル爾ノ神ヲ愛セヨ斯レ誡ノ首ニシテ大ナル者ナリ其次ハ爾ノ隣ヲ愛ス己ノ如セヨト亦猶キ是如シ全律法ト預言者ト皆此三誡ニ繫ルナリ」(マテフエイ廿二)

問 總テ人ハ我等ノ隣ナルヤ
答 然リ人皆唯一神ノ創造ニ係リ而シテ一人ヨリ生出シタルヲ以テナリ然リト雖モ宗教上ノ兄弟親戚ハ我等ノ隣中ノ隣ト云フモ可ナリ何トナレバイイヌスハリストスヲ信シ唯一天父ノ子タルコ由ル
問 自己ニ對スル愛ヲ勤ムルノ誠命アラザルハ何ゾヤ

答蓋シ誠命ナキモ天性ニ由テ「從リ未己」ノ身ヲ惡ム者アラ
 ズ乃チ之ヲ保シ之ヲ養フナリ」(エニエス九五)
 問神ニ對シ隣ニ對シ自己ニ對スル愛ノ次序ハ如何
 答自己ヲ愛スルハ全ク神ノ爲メ又一部ハ隣ノ爲ニスベシ
 隣ヲ愛スルハ神ノ爲ナルベシ神ヲ愛スルハ全ク神ノ爲
 ナリ且百事百物ニ越テ之ヲ愛セザルベカラズ自己ニ對
 スル愛ヲ以テ隣ニ對スル愛ノ犧牲ニ供シ自己ニ對シ
 隣ニ對スル愛ヲ以テ神ニ對スル愛ノ犧牲ニ供スベキナ
 リ
 「人其友ノ爲ヨリ己ノ命ヲ損ルル人斯愛ヨリ大ナルハナ
 ズ」(イナア三十三)
 「父母ヲ愛スル我ニ過クル者我ニ宜カラズ子女ヲ愛スル

我ニ過クル者我ニ宜カラザルナリ」(マ三トフエ十)
 問全律法若シニ誠命中心ニ含有セバ何ヲ以テ其ヲ十箇條
 ニ區別スルヤ
 答神ト隣ニ對スル職務ヲ分テ一層詳明ナラシムルカ爲ナ
 問神ニ對スルノ職務ハ何ノ誠命中心ニ命スルヤ
 答前ノ四箇條ニ命スルヤ
 問然ラバ何等ノ職務ゾヤ
 答第一誠命ハ眞神ヲ誠悟シ及ビ之ヲ崇敬スルヲ命ス
 第二誠命ハ假神ヲ崇敬スルヲ忌避スベキヲ命ス
 第三誠命ハ一言タリテ神ヲ崇敬スルヲ破ルベカラザ
 ルヲ命ス

第四誠命ハ神ヲ崇敬スルノ時間及ビ働作ノ次序ヲ固守
 スベキヲ命ス
 問隣ニ對スルノ職務ハ何ノ誠命中ニ命スルヤ
 答後ノ六箇條ニ命ス
 問何等ノ職務ツヤ
 答第五誠命ハ兩父母ヲ初トシテ特ニ我等ニ親近ナル隣ヲ
 敬スルヲ命ス
 第六誠命ハ隣ノ生命ヲ傷害スベカラザルヲ命ス
 第七誠命ハ隣ノ道德ノ潔白ヲ傷害スベカラザルヲ命ス
 第八誠命ハ隣ノ所有物ヲ傷害スベカラザルヲ命ス
 第九誠命ハ言語ヲ以テ隣ヲ傷害スベカラザルヲ命ス
 第十誠命ハ隣ヲ傷害セント希望スベカラザルヲ命ス

問十誠中ニ自己ニ對スルノ職務ヲ含有セザルヤ
 答是職務ハ隣ニ對スル職務ノ誠命中ニ含有ス蓋シ隣ヲ愛
 スル己ノ如セザルベカラズ

○第一誠命

問「我ハ乃チ主ナル爾ノ神ナリ」ト云ルハ何意ツヤ
 答神ハ此語ヲ以テ自己ノ何物タルヲ人ニ指示シ隨テ主ナ
 ル神ヲ識悟スルヲ命ス
 問神ヲ識悟スベキノ命ヨリシテ吾人何ノ緊要ナル職務ヲ
 取ルベキヤ
 答一神ヲ識悟スルヲ勉學スベキコト凡ソ知識中至重緊
 要ノ者ナルヲ以テナリ
 三聖堂ニ於テ神ノ言及ヒ其行跡ヲ講スルヲ聞クヲ勉勵

又家ニ在テハ是等ノ敬虔ナル説ヲ談スベキナリ
 三神ヲ識悟スルヲ誨ル所ノ書ヲ讀ミ或ハ聞クベキナリ第
 一ニ聖書第二ニ諸聖教父ノ著述ナリ
 問「我ノ外別ニ爾ノ神アルナシ」ト云ルヲ以テ何ヲ命スルヤ
 答唯一眞神ニ歸向シ之ニ密接スルヲ命ズ即チ敬虔ノ心ヲ
 以テ神ヲ崇敬スルノ謂ナリ
 問心衷ノ敬神ニ關涉スルノ職務ハ何ゾヤ
 答一神ヲ信スル
 二神前ニ行ク
 三神前ニ行ク即チ神ヲ記念シ百事萬物省慮ヲ經テ作
 行スルノ謂ナリ蓋シ神ハ獨リ所行ヲ知ル而已ナラス亦
 能ク秘隱ノ思想ヲ視ル
 三神ヲ敬畏スル
 或ハ神前ニ敬ビ虔ム
 即チ天父ノ義

怒ヲ以テ己ノ至大ナル災ヲ蒙リシ而シテ其ヲ犯サズラズ
 上汝々勉勵スルノ謂ナリ
 四神ヲ倚信スル
 五神ヲ愛慕スル
 六神ニ順從スル
 七神ヲ崇敬スベキ
 八神ヲ讚美スベキ
 九神ヲ感謝スベキ
 十神ヲ呼祈スベキ
 彼レ凡ノ美事善業ヲ創ムルニ際シ

純善全能ヲ扶助者ナリ以テ善ヲ爲スルヲ助ケルニ在リ
 問 外部ノ敬虔ニ關涉スル職務ハ何ゾヤ
 答 神ヲ傳宣スルヲ即チ神ヲ實ニ我神ナリト承認シ而シテ
 是ニ依テ假令辛苦禍難ヲ受テ終ニハ死セザルニカハラザ
 一 場合ニ至ルニ雖モ神ヲ棄絶セザルノ謂ナリ
 二 神自ラ設立シ又ハ正教會ノ制定セシ公同神事ニ干與
 三 誠命ニ悖ルノ罪ノ如何ヲ知ラザルニカラズ
 問 第一誠命ヲ一層明細ニ了解シ而シテ遵守セシムルハ此
 誠命ニ悖ルノ罪ハ乃チ左ノ如シ
 答 此誠命ニ悖ルノ罪ハ乃チ左ノ如シ
 一 無神教、即チ人神ノ審判ノ恐怖ヲ免レント欲シ己ノ心
 二 謂テ神ナシトスル是ナリ 聖詠者斯人ヲ稱シテ無智者

ト言フハ實ニ當レリ (詩篇十一)
 二 多神教、唯一眞神ノ代ニ種々妄想ノ神體ヲ信認スル是
 ナリ
 三 不信教、神ノ存在ヲ認ムレモ其天意啓示ヲ信用セザル
 是ナリ
 四 異端、教理ノ中ニ神ノ眞理ト相反スルノ思想ヲ混淆ス
 ル是ナリ
 五 岐教、自恣ニ敬神ノ唯一ヲ破リ神ノ正公教會ヨリ分離
 スル是ナリ
 六 背神、人ヲ懼レ或ハ世利ニ迷ヒ眞教ヲ棄ル是ナリ
 七 絶望、神ヨリ恩寵及於教壇ヲ享クセシテ希望ヲ全ク絶テ
 是ナリ

七妖術、神力ヲ信セズ造物ノ奇々怪々ナル力ヲ信シ概シテ造物ノ惡力特ニ惡鬼ノ力ヲ信シテ勉強動作スル是ナリ
 九妄信、何ニ論ナク通常ノ物品ヲ信用シテ神力アリトシ神ノ代ニ之ニ倚頼シ之ヲ敬畏スル是ナリ
 十怠惰、敬虔ノ教及ビ祈禱并ニ公同神事ニ怠ル是ナリ
 十一造物ヲ愛スル神ニ過シル行ハル是ナリ
 十二諂諛、人ニ悅チ取ルヲ專一トシテ神ニ悅バル、トニ注意セザル是ナリ
 十三人力ニ依頼スルコト、自己若クハ他人ノ才能勢力ヲ頼シテ神ノ仁慈扶助ヲ頼マザル是ナリ
 問 何爲諂諛及ビ人力ニ依頼スルコト第一誦命ニ反ストス

ルヤ
 答 蓋シ我等人ニ諂諛シ之カ悅チ取り之カ權勢ヲ頼ミ而シテ神ヲ忘ル、アレバ則チ眞神ノ代ニ此人ヲ以テ我等ノ神トスルト一般ナリ
 問 聖書ハ諂諛ノコト如何ニ云ヘルヤ
 答 使徒パウエル曰ク「若シ我仍ホ人ヲ悅ビシマバ則チハリストスノ僕タラズ」
 問 聖書ハ人力ニ依頼スルコト如何ニ云ルヤ
 答 主曰ク凡ソ人ヲ頼ミ血肉ヲ以テ其臂トスル者其心主チ退離ス
 問 神ニ對スル職務ヲ能ク做シ遂ケンコト欲セハ人自己ヲ如何處置スベキヤ

答自記ニ克ツベシ

「イイフスハリストス曰ツ凡ツ我ニ從ハント欲スル者ハ
則チ己レニ克ツベシ」(ノ三十四)

問自記ニ克ツルハ何意ゾヤ

答大ツシヨクイ之ヲ講明ス「舊人即チ人ヲ惑スノ慾ノ爲ニ壞

ル者其行ヲ脱スル者ハ自己ニ克ツ又凡ツ敬虔ノ志
謀ヲ妨碍スル世俗ノ偏情ヲ絶ツ者自己ニ克ツ者ヲリ而

必死ヲ定メテ己ヲ恃マザルコアルナリ」(道徳篇
八問答)

問自記ニ克ツ大ニ天然ノ嗜好ヲ抑制シテ何ノ安慰ヲ得

答神ヨリノ來ルノ恩慰即チ苦難禍災ノ能ク破ルベカラザ

ル所少者ナリ

「獨ホハリストス」ノ苦既ニ我等ニ充盈スルカ如シ是如ク
我等ハリストスニ由テ獲ル所ノ慰モ亦充盈ス」(後書一ノフ
五)

問第一誠命若シ敬虔ノ心ヲ以テ唯一ノ神ヲ崇敬スルヲ命
セバ天使聖人ヲ敬スルハ此誠命ニ相適合スルヤ

答適當ニ彼等ヲ崇敬スルハ全ク此誠命ニ適合ス蓋シ吾人
彼等ノ中ニ在テ働作スル所ノ神恩ヲ敬シ彼等ヲ以テ神
ニ扶助ヲ請求スルナリ

○第二誠命

問第二誠命ニ所謂「偶像」トハ何ゾヤ

答此誠命ニ説明スルカ如ク偶像トハ何ニ限ラズ天ニ在リ

問何等ノ心意ヲ以テ聖像ヲ崇拜スベキヤ
答是ヲ視ル者ハ宜シク己ノ智慧ヲ以テ之ニ像ル所ノ神及
ヒ聖人ヲ仰視スベキヲ要ス

問第三誠命ニ背反スルノ罪ヲ總稱シテ何ト云フヤ

答偶像崇拜

問其他第三誠命ニ背クノ罪アラズヤ

答粗健ノ偶像崇拜ノ外微細ノ偶像崇拜アリ左ノ如シ

一貪欲

二貪食即チ嗜味饜發沈醜

三傲慢并ニ虛譽

問貪欲ハ何爲偶像崇拜ニ属スルヤ

答使徒パウエル曰ク「貪婪ハ偶像奉事ナリ」ト

(コロス)蓋シ貪欲

者ハ富財ノ爲ニ勞スル神ノ爲ニスルニ過ク

問第二誠命ニ利欲ヲ禁セハ是ニ何ヲ勸諭スルヤ

答清廉及ヒ恩惠

問貪食ハ何爲偶像崇拜ニ属スルヤ

答蓋シ貪食者ハ塵世肉體ノ嗜好ヲ以テ首ト爲ス是故ニ使

徒曰ク「彼等ノ神ハ腹ナリ」ト反言スレバ腹ハ乃チ彼等ノ

偶像ナリ(コリニ)

問第二誠命ニ貪食ヲ禁セハ是ニ何ヲ勸諭スルヤ

答節制及ビ持齋

問何爲傲慢ト虚譽ハ偶像崇拜ニ属スルヤ

答蓋シ傲慢者ハ己ノ才能ト特權ヲ高ムルヲ以テ首ト爲ス

故ニ是レ則チ其偶像ナリ虚譽者ハ他人ニモ此偶像ヲ拜

セシメシテ欲ス傲慢虚譽ヲ好ム者ノ斯ル心術ヲハビロ
ンノ玉ナケホドノソルニ於テ明ニ見ルベシ彼レ己ノ爲
ニ金像ヲ建造シ臣下ヲシテ之ヲ崇拜俯伏スルヲ命シテ
リ（三章參イ考ル）

問其他偶像崇拜ニ相類似セル不善アラズヤ

答偽善乃チ是ナリ内ハ己ノ心ヲ改正スルヲ慮ラズシテ偏

ニ敬虔ノ行事ヲ外ニ顯ハシ例ヘバ禁食及ビ外義ヲ嚴守

シテ以テ人ノ尊敬ヲ得ルノ具トス（マ一七參イ六ノ）

問第二誠命ニ傲慢虚譽及ビ偽善ヲ禁セバ是ニ何ヲ勸諭ス

ルヤ

答謙遜及ヒ隠徳

○第三誠命

問神ノ名ハ如何シテ「妄ニ稱セララル」ヤ

答妄ニ稱セララルハ則チ無益ノ妄談ニ其名ヲ發スルヲ云

フ詐偽ヲ以テ或ハ敬虔ノ意ナクシテ發スルカ如キハ妄

稱ノ尤モ甚シキ者ナリ

問第三誠命ニ禁スル所ノ罪ハ何ゾヤ

答一褻瀆、敢テ神ニ逆フノ言ヲ發スルヲ云フ

二怨神、天意ヲ怨訴スルヲ云フ

三聖物ヲ瀆侮スルヲ、聖物ヲ玩具ト爲シ或ハ之ヲ凌辱ス

ルヲ云フ

四祈禱ニ注心セザルヲ

五偽誓、誓ヲ以テ無實ヲ固證スルヲ云フ

六背誓、正義合法ノ誓約ヲ成就セザルヲ云フ

七神ニ失ヒシ約束ヲ破ル
八妄語、俗談ニ輕シク誓ヲ發スルヲ云フ

問 聖書中ニ談話ノ時起誓スルヲ特別ニ禁制スルコトアラズヤ

答 救主曰ク「我レ爾等ニ語シ概テ發誓スル勿レ唯爾ノ言ハ宜シク是ヲ是トシ否ヲ否トスヘシ此ヨリ過ル者ハ則チ

惡ヨリ起ルナリ」(マテ四三、五七)

問 然ラバ都テ公事ニ發誓スルヲ禁スルヤ

答 使徒パウロ曰ク「人更ニ大ナル者ヲ指シテ誓ヒ且失フニ

誓ヲ以テスレバ則チ爭辨皆息ニ定擬スヘキヲ致ス乃チ

神其旨ノ不易ヲ將ニ其所許チ嗣ガントスル者ニ表サシ

ト欲ス故ニ之ヲ實スルニ誓ヲ以テス」(エウレ、一七六)

神自ラ不易ヲ證スルカ爲メ誓ヲ用ニ況ンヤ我等最重緊要ノ場合ニ際シ律法權ノ要求ニ由テ虔恭ノ心及ヒ永久不易ノ堅志ヲ以テ誓ヲ發スルハ許ス所タル前文ニテ推シテ知ルヘシ

○第四誡命

問 第七日ヲ以テ神ニ獻スヘキヲ命シ而シテ其他ノ日ヲ命セ

ザルハ何ゾヤ

答 蓋シ神六日ノ中ニ世界ヲ創造シ第七日ニ於テ創造ノ功

ヲ息ム

問 ハリコトニ教會ニ於テモ亦安息日ヲ祭ルヤ

答 全成ノ祭禮トシテ之ヲ祭ルニ非ス唯世界創造ヲ記憶シ并ニ最初往古ノ祭日ヲ連續スル爲メ之ヲ祭り而シテ禁食

ヲ寛ウシ以テ他日ニ區別ス

問 ハリストス教會ハ第四誡命ヲ如何ニ遵守スルヤ

答 ハリストス教會ニ於テハ毎六日ヲ過キ第七日ヲ祭ル但

シ七日ノ終末即チ安息日ニ非ス乃チ毎七日ノ首日即チ

復活日(日曜日)ヲ祭ルナリ

問 何時ヨリ復活日ヲ祭ルヤ

答 ハリストス復活ノ本日ヨリス

問 聖書ニ復活日ヲ祭リシコトヲ載スルヤ

答 使徒行實ニ弟子即チ「ハリスティアコン」安息日ノ翌日即チ

「週日ノ首日」所謂復活日ニ會合シテ「餅ヲ擘キ」聖體機密ヲ

行ヒシヲ記ス(行實七)使徒及ヒ福音者ナルルイナアンノ默

示録ニ亦主日即チ復活日ヲ載ス(默示録一)

問 第七日即チ安息日ト云ルヲ以テ他ニ指スベキ祭日アラ

ズヤ

答 舊約教會ニ於テハ安息日ト云ルヲ以テ亦祝日或ハ禁食

ノ爲ニ設ラレシ祭日ヲ指シテ云ヘリ例ヘハ「パスハ」祭潔

除日ノ如キ是ナリ斯如クハリストス教會ニ於テモ復活

日ノ外更ニ神ヲ讚揚スルノ日至聖ナル生神女及諸聖人

ヲ尊敬スルノ記念日定期ニ依テ設ラレタル諸祭日及ヒ

持齋ノ如キヲ遵恪スベキナリ(正教宗門下篇六十四問答 上篇八十八問答参考)

問 最緊要ノ祭日ハ何ゾヤ

答 神ノ子我救ノ爲ニ人體ヲ取リシコト神性ノ現表シタル

コトニ于スル最緊要事件ヲ記念スルカ爲ニ設ラレタル祭

日及ヒ神ノ子ノ人體ヲ取リシコト神異奧妙コトノ任ヘタ

一 至聖ナル生神女ヲ榮メルガ爲ニ設ケラル祭日ナリ
 左ニ事件ノ次序ヲ追フテ之ヲ掲ク
 一 至聖ナル生神女ノ誕生日
 二 生神女神日 獻セラル、カ爲ニ聖殿ニ入ル日
 三 福音日 即チ天使神ノ子至聖ナル處女ニ身ヲ藉ルヲ報
 信セシ日ナリ
 四 ハリストス誕生日
 五 主ノ洗禮并ニ至聖三者顯現ノ日
 六 主聖殿ニ於テシメラジコ遭遇スルノ日
 七 主ノ變容日
 八 主イエルサリムコ入ルノ日
 九 「パタハ」即チハリストスノ復活祭諸祭ノ祭永遠ノ祝祭

一 永遠ノ福樂ヲ豫メ感覺スルノ日ナリ
 十 主ノ昇天日
 十一 五旬節即チ聖神ノ降臨ヲ記念シ并ニ至聖三者ヲ讚
 揚スルノ日ナリ
 十二 皇后エレナノ發見也、聖架ヲ擧クル日
 十三 至聖ナル生神女ノ寢日
 問 特齋ノ最重ナル者何ゾヤ
 答 大齋即チ四旬齋是ナリ
 問 何爲大齋ヲ四旬齋ト稱スルヤ
 答 蓋シ特齋ノ日數ハ四ツトスノ苦難ヲ受ケテ週日ヲ除テ
 四十日續シテ以テナリ
 問 何爲大齋ハ四十日續シヤ

答 以イハスハ初ストス自ラ四十日禁食セシニ做フナリ

(六ニ参フニイ)

問 何爲水曜金曜日ニ禁食スルヤ

答 水曜ニ於テ我注イハススハリストス苦ニ付セラル、

想出シ金曜ニ於テハ其苦難及ビ死ヲ記憶ス

問 降誕ノ齋生神女寝以齋及ビ聖使徒ノ齋ヲ設立セシハ何

爲ゾ

答 前ノ二齋ハ豫メ節制以功ヲ積ニ以テ此齋ニ次リ所ノハ

カ爲メ後以禁食ニ使徒預メ福音傳教ノ行事ニ自己ヲ准

備セシカ爲メ禁食セシニ做フカ爲ナリ (行實三十)

問 此誠命ニ循テ祭日ヲ如何ニ恪守スルヤ

答 第二此日操作スルヲ禁ス即チ俗事世務ヲ爲スヘカラズ

第三此日ヲ聖ニ守ルニ命ニ即チ聖法ヲ靈事ニ用ヒ以テ

神ヲ頌揚ス

問 何爲祭日操作スルヲ禁スルヤ

答 操作ハ聖務及ビ聖旨ニ協テ事業ニ此日ヲ送ルヲ妨ル

カ爲ナリ

問 祭日ニ何ヲ行フハ適當ナリヤ

答 一聖堂ニ詣リテ共同神事ニ與リ聖書ノ講説ヲ聞クベキ

二家中ニアルモ亦祈禱ヲ爲シ聖書ヲ讀ミ或ハ靈益ノ説

ヲ談スベキ

三自己ノ家産ノ一部分ヲ以テ神ニ獻シ而シテ教會及ビ之

ニ役事スル者ノ費用トナシ又ハ貧者ニ施濟スルニ用ニ
 ベキヲ病者并ニ困圖ニアル者ヲ顧問シ其他ハリスティア
 ニシ友愛ノ善行ヲ致スベキヲ
 問然レモ操作日ニ亦斯ル善行ヲ爲スベカラズヤ
 答是ヲ爲ス者最モ善ナリ操作ニ妨礙セラル者ト雖僅ニ
 祭日ニハ必ス斯ル善行ヲ献セザルヘカラス毎日朝夕食
 前食後必ス祈禱ヲ爲サザルヘカラス可成丈ケ百般事務
 始メ并ニ之ヲ終ル時モ亦祈禱ヲ行フヲ要ス
 問祭日ニ魄能シ遊戯觀物及ヒ世俗ノ曲歌暴飲暴食ヲ縱ニ
 スル如キハ如何
 答斯ル人ハ甚ク祭日ノ聖ヲ犯ス蓋シ無辜ニシ生計ノ爲メ
 有益ノ事業ヲ操作スルモ尙ホ聖日ニ適ヒス况ンヤ無益

ノ事業不善肉體ノ行事ニ於テハ論ヲ俟ザルナリ

問第四誡命ニ六日ノ操作ヲ命セバ一事モ勞作セザル者ヲ
 罪セザルヤ

答平日當然ノ義務職分ヲ勉メス懶惰無心ニ光陰ヲ經過ス
 ル者ヲ罪ス

○第五誡命

問第五誡命ハ父母ヲ敬スヘシト云ルノ總稱ヲ以テ父母ニ

對シテ何等ノ職務ヲ命スルヤ

答一父母ヲ待遇スルニ敬愛ヲ以テスベキ

二父母ニ幸福ヲ盡スベキ

三父母疾病ニ罹リ或ハ老衰ニ至ル時ハ宜シク看護シテ
 其ヲ安慰セシムベキ

四父母既ニ世ヲ卒ルト雖モ亦生存中ノ如ク其靈魂ノ救
ヲ祈リ又神律ト國法ト悖ラザル遺言ハ信實ニ成行スベ
キヲ（マツカウエニ書十二ノ四十三四十四、イエレミヤ三十五）

問 父母ニ對シテ不敬ノ罪其重大如何

答 我等性命ヲ受ケタル父母ヲ親愛孝敬スルハ至テ容易ニ

自然ノ性情ヨリ出ツ然ルニ之ニ對シテ不敬ヲ行ハバ

其罪幾何カ夫レ重大ナルヤ故ニモイセイノ律法ニ由レ

バ父母ヲ罵ル者ハ死刑ニ處セラル（エギハト出記
廿一ノ十六）

問 父母ヲ孝敬スルノ誠命ニ就テノ福祥及ヒ壽命ヲ許約

スルハ何故ゾヤ

答 此誠命ニ第一家裡ニ制治及ヒ第二ニ社會ノ制治ヲ堅立

スル所ノ者ナレバ特ニ目前ノ獎賞ヲ示シ以テ益々奮發

勉勵セシムルカ爲ナリ

問 此許約如何ニ應驗スルヤ

答 往昔諸祖ノ儀表ヲ以テ神父母ノ祝福ヲ以テ子ニ特別ノ

力ヲ賦スルヲ見ルベシ（創世記二
十七參考）父ノ祝福ハ子ノ家ヲ堅

立シ（シラフ
三ノ九）神ハ其靈智正義ナル天意ヲ以テ特ニ地ノ父

母ヲ孝敬スル者ノ生命ヲ保護シ之ニ福祥安樂ヲ下賜ス

而シテ完全ナル善徳ヲ報スルニ至リ天ノ生國ニ於テ永

遠不究歡樂幸福ニ生命ヲ賜ハントス

問 何爲隣ニ對スル愛ノ誠命ニ首トシテ父母ヲ載スルヤ

答 蓋シ父母ハ天性ニ依リ我等ニ對シテ衆人ヨリ最親近ト

スル者ナリ

問 第五誠命ニ父母ト云ルヲ以テ他ニ指示スベキ者アラズ

答百般ノ事ニ於テ凡ソ我父母ニ代ル者ヲ謂フナリ
 簡我父母ニ代ル者ニ誰ソヤ
 答一國王及ビ生國ヲリ蓋シ生國ハニ大家族ヲリ而シ國王
 其父臣下ニ國王及ビ生國ノ子ナリ
 三牧師教師ナリ蓋シ彼等ハ教ヲ以テ機密ヲ以テ靈ノ生
 活ニ我等ヲ産ミ且是ニ養育スルナリ
 三年長者
 四思者
 五總シテ首領タル者
 問聖書ニ國王ニ對スルシ尊敬ヲ如何ニ云ルヤ
 答各人宜シク在上ノ權ニ服スベシ蓋シ權ハ神ヨリ出ザル

ハナシ所有ノ權ハ神ノ命メル所ナリ故ニ權ニ逆フ者ハ
 神ノ命ニ逆フナリ (ローマ十三)

「之ニ服スルニ唯怒ニ由ルノミナラズ則チ良心ニ由テ服ス
 ベシ」 (コリント十)

「我子ヤ神及王ヲ畏ルヨ交々彼等ヲ敬スル勿レ」 (箴言廿四)
 「ケサルノ物ヲ以テケサルニ歸シ神ノ物ヲ以テ神ニ歸セ
 ヨ」 (マタイ二十一)

「神ヲ畏ル主ヲ敬セヨ」 (マタイ十七前書)

問國王及ビ生國ニ對スルノ愛ハ至極ニ如何ゾヤ
 答彼等ノ爲ニ己ノ生命ヲ棄ルニ至ルベシ (イテア十三参考十五)

問聖書ニ牧師教師ヲ敬スベキヲ如何ニ云フヤ
 答爾ハ爾傳ニ從テ自ラ之ヲ服スベシ蓋シ彼等爾ノ靈ヲ爲

答「僕ヤ爾ヲ畏懼懺慄シ誠心ヲ以テ爾ヲ肉身ヲ屬スルノ主人ニ服従スルハリストスニ於ルカ如スベシ第タ目前ノ服従ニ在テ悦ヲ人ニ取ル者ノ如スル勿レ乃チハリストスノ僕ノ如ク心ヨリノ神ノ旨ヲ行ヘ」(エフエス六)

「僕ヤ爾等畏懼ヲ以テ爾ノ主ニ服スベシ善良溫柔ナル者ノミナラズ苛刻ナル者ニ於ルモ亦然リ」(二ハト十三前書)

問聖書ニ子ノ父母ニ對スル義務ヲ命セバ亦父母ノ子ニ對スル義務ヲ命セザルヤ

答父母ノ職務ニ應ジテ其子ニ對スル義務ヲ命ス

「父ヤ爾カ子ノ怒ヲ激スル勿レ乃チ主ノ教訓警戒ヲ以テ之ヲ養育セヨ」(六エハワエス四)

問聖書ニ牧師ノ牧群ニ對スル義務ヲ如何ニ云ルヤ

答「爾中ニアル神ノ群ヲ敬シ且之ヲ監督スベシ強ニ由ルコト非ズ乃チ願ニ由ル汚利ニ因ルコト非ズ乃チ樂ニ由ル神ノ業ニ主トナルコト非ズ乃チ群ノ式トナレ」(五ハト三前書)

問聖書ニ耆長及ビ領主ノ義務ヲ如何ニ云ルヤ

答「主人ヤ爾宜シク公平ヲ以テ僕ニ施スベシ天ニ在テ爾モ亦主アルヲ知レハナリ」(四コロ一)

問父母若シハ首長宗教或ハ神律ニ悖ルノ不義ヲ強テ爲サシムルカ如キアラバ如何シテ可ナランヤ

答斯ル時ハ使徒ノウデヤノ首長ニ言ヒシ如ク彼等ニ向テ曰フベシ「爾等ニ聽クコト神ニ聽クコト念ラハ神前ニ義タリヤ自ラ審セヨ」ト而シテ宗教ト神律ノ爲ニ何等ノ禍難ニ遭フト雖凡皆忍耐恒久スベシ」(十行九參考)

問第五誠命ノ要スル所ノ性質或ハ善行ヲ總稱シテ何ト云

フヤ

答從順ト云フ

○第六誠命

問第六誠命ニ於テ禁スル所ハ何ゾヤ

答凶殺即チ何ノ方法ニ論ナシ隣ノ生命ヲ奪取スルヲ云フ

問都テ生命ヲ奪取スルハ背律ノ凶殺ニ属スルヤ

答職務ニ係テ生命ヲ奪取スルハ犯法ノ凶殺ニ属スルコト非ズ

例ハ左ニ於ルカ如シ

一公義ニ由テ罪人ヲ死刑ニ處スルコト

二國王及ビ生國ノ爲メ戰闘ニ出テ讐敵ヲ殺ス

問不自由ノ凶殺例ハ意志ナク不圖人ヲ殺スハ如何

答不自由ノ殺人者ト雖モ若シ適當ノ豫防ヲ用テ不慮ニ備

ルコトナカリセハ則チ無罪ト看做スヲ得ズ必ズ教會ノ規

制ニ循テ良心ヲ淨ムルヲ要ス

問何等ノ事件ハ背律ノ凶殺ニ属スルヤ

答何ノ利器ニ係ラズ人ヲ直殺スルノ外此罪ニ属スルノ事

件左ノ如シ

一審吏被判者ノ無罪タルヲ明知シテ之ヲ定罪スルコト

二殺人者ヲ秘シ或ハ之ヲ放テ復タ凶殺ヲ爲スノ便機ヲ

與フルコト

三隣ノ死ヲ救援スルヲ得ベシト雖モ肯テ之ヲ爲ササル

ト例ハハ富者貧者ノ餓死スルヲ坐視シテ死地ニ至ラシ

ムルカ如シ

四管下ニカニ堪フ可ラザル不相當ノ劬勞ヲ命シ慘忍ノ處罰ヲ用テ之ヲ疲倦セシメ而シテ速ニ其死期ヲ來ス。五固有ノ生命ヲ節度ナキニ由リ或ハ他ノ不善ニ由テ滅縮スル。

問自殺ハ其罪如何

答自殺ハ凶殺ノ背律ニ屬ス蓋シ我等ト同類タル他人ヲ殺スハ天性ニ悖ル況ヤ自己ヲ殺スハ最天性ニ悖ルモノナリ我等ノ生命ハ私有物ノ如ク我ニ屬スルニ非ス乃チ之ヲ賦與セル神ニ屬ス

問私爭ヲ決セント欲シテ單身決闘スルハ其罪如何

答私爭ヲ裁決スルハ政府ノ當ニ負擔スヘキ所ナリ然ルニ單身決闘スル者ハ政府ノ權ヲ僭シテ自己若クハ其爭競

者二人ノ中孰カ刑セラルベキチ自ラ恣ニ裁決スルカ故單身決闘ニ重罪ニアリ即チ政府ニ逆フ罪凶殺及ビ自殺ナリ

問身體ノ殺害ノ外更ニ神靈ノ殺害アラサルヤ

答神靈ノ殺害ノ種類ハ誘惑ナリ則チ隣ヲ誘ヒ不信不法ニ導キ其靈魂ヲ死亡ニ陷ラシムルノ謂ナリ

救主曰ク凡ソ我ヲ信スル此ノ小子ノ一チ罪ニ陷ル者

ハ寧ロ磨石ヲ以テ其頸ニ懸ケテ深海ニ沈メ（マハトノフイ）

問其他凶殺ノ微細ナル類アラサルヤ

答凡ソ愛ニ悖リ且不正ニ隣ノ安寧ヲ害スルノ言行并ニ表ニ顯レザルモ心中隣ヲ嫉惡スル等ハ輕重ニ論ナク此罪ニ屬ス

「凡ソ其兄弟ヲ憎ム者ハ殺人者タリ」(イコノアソ)

問隣ノ生命ヲ傷害スルヲ禁セバ之ニ何チ行フヲ命スルヤ

答勤毘盡力シテ隣ノ生命及ビ安寧ヲ保護スルヲ命ス

問此義務ノ中ニ含有スル者何ゾヤ

答一貧者ヲ救助スル

二病者ヲ介抱スル

三憂愁者ヲ慰撫スル

四薄命不幸ノ者ヲ憐テ其態度ヲ善スル

五衆人ヲ待スルニ溫柔愛惠ヲ以テシ及ヒ教訓トナルベ

キヲ以テスル

六忿怒スル者ト相和スル

七凌侮ヲ宥シ及ビ仇敵ニ善ヲ施ス

○第七誡命

問第七誡命ニ於テ禁スル所ハ何ゾヤ

答姦淫

問姦淫ト云ルヲ以テ罪ノ如何ナルノ種類ヲ禁スルヤ

答使徒パウロ此穢事ヲ「ハリステイア」タル者宜シク口ニ

マモ發スベカラザルヲ勸ム(エフエス参考五)唯此罪ヲ豫防セシ

メソカ爲メ是非ナク其中一二ヲ掲テ曰ハザルヲ得ズ例

バ

一邪淫即チ男女未婚セザル者相互ノ肉情ヨリ發起シタ

ル無法無倫ノ戀愛是ナリ

二苟合即チ既ニ結姻セシ者亂ニ夫婦戀愛ノ情ヲ他人ニ

傾向スル是ナリ

三朋淫即チ最近ノ親戚相互ニ契約ヲ結テ夫婦トナル是
ナリ

問 救主如何ニ姦淫ノ罪ヲ誨ラレシヤ

答 彼レ曰ク「凡ソ婦ヲ見テ慾ヲ懷ク者ハ則チ中心已ニ之ト

淫ス」(マトフエイ
五ノサハ)

問 此微細ナル心中ノ淫行ニ陷ラザランカ爲ニ何ヲ遵守ス
ベキヤ

答 宜シク都テ心中ニ不淨汚穢ナル感情ヲ發起スル者ヲ禁
遏スベシ例バ淫情ノ歌詩跳舞淫辭醜態ノ遊戯滑稽醜態
ノ觀物及ビ不淨不潔ナル戀愛ヲ記スル書ヲ讀ム等ナリ
福音書ニ載スルカ如ク勤テ誘惑スル者ヲ見ル勿レ
「若シ爾ノ右目爾ヲ罪ニ陷レバ則チ抉テ之ヲ棄テヨ寧ロ

爾ノ體ノ一ヲ喪フモ全身地獄ニ投セラレ、勿レ」(マトフ
エイ五ノ

九廿

問 罪ニ陷ルノ目實ニ抉ラザルベカラズヤ

答 是ヲ抉ルニ手ヲ以テスル勿レ乃チ意旨ヲ以テスベシ人

堅ク罪ニ陷ル者ヲ見ザラント決心シタラシムハ則チ既

ニ罪ニ陷ルノ目ヲ自ラ抉ルナリ

問 姦淫ノ罪ヲ禁セバ是ニ克シハ何ノ善行ヲ命スルヤ

答 是ニ克シハ夫婦相互ノ親愛眞實ヲ命ス又能ク持堪ス

ル者ニハ純全ナル清廉潔白及ビ貞操ヲ守ルヲ命ス

問 聖書ハ夫婦相互ノ職務ヲ云ルヤ

答 夫ヤ爾宜シク婦ヲ愛スルハリストス教會ヲ愛シ而シテ之

カ爲メニ己ヲ捨ルカ如クスベシ」(エフエス
五ノ十五)

「婦ヤ爾宜シク夫ニ服スル主ニ服スルカ如ク然ルベシ蓋
シ夫ハ婦ノ首タリハリストス會ノ首タルカ如シ彼レ且
身ノ救者タリ」(同上節廿二)

問聖書何等ノ勸勵ヲ示シ以テ姦淫ヲ避ケ貞操ヲ守リテ生
活セシムルヤ

答聖書我身體ヲ清淨潔白ニ守ルヲ命ス蓋シ是レハリスト

スノ肢及ヒ聖神ノ殿ヲ逆然ルコ之ト反シテ行淫者ハ己

ノ身ヲ犯ス即チ其ヲ破壊シ疾病ヲ以テ其ヲ穢シ甚シキ

ハ靈魂ノ才能ヲ傷害ス例ハ想像力記憶力ノ如キ是ナリ

(哥林多前書
六章參考)

○第八誡命

問第八誡命ニ於テ一般ニ禁スル所ノ者ハ何ゾヤ

答偷竊即チ何ノ方法ヲ論ゼズ他人ニ屬スル者ヲ濫ニ己ノ

私有トスルヲ云フ

問此誡命ニ於テ特ニ禁スル所ノ罪ハ何ゾヤ

答大要左ノ如シ

一強奪即チ威力ヲ用ヒ公然ト他人ノ品物ヲ劫掠スル是
ナリ

二竊盜即チ秘密ニ他人ノ品物ヲ盜奪スル是ナリ

三欺騙即チ姦猾奇計ヲ用ヒ他人ノ所有ヲ己ノ私有トス
ル是ナリ例バ贗貨ヲ以テ眞貨ニ換ヒ惡品ヲ以テ良品ニ

易ヒ之ヲ人ニ交與販賣シ偽造ノ權衡尺度ヲ用ヒ買主ヲ

欺キ不相當ノ賣品ヲ以テ之ニ交與シ家産ヲ秘藏シ以テ

債主ヲ欺キ己ノ負債ヲ拂ハザラントシ或ハ約定ヲ踐行

セズ或ハ偷盜ノ罪アル者ヲ窩藏シ以テ侵凌ヲ被リタル者ノ快適満足ヲ失ハシムル等ナリ

四聖物偷盜即チ神ニ獻納セシ物及教會ニ屬スル物品ヲ己ノ私有トスル是ナリ

五神職僭竊即チ人品ノ如何ヲ論セズ唯利ノ多少ニ着目シ神品ノ職ヲ或ハ濫授シ或ハ僭取スル是ナリ

六苞苴即チ管下或ハ被判者ヨリ賄賂ヲ取り而シテ利ノ多少ニ由テ不當ノ者ヲ登崇シ有罪ノ者ヲ義トシ而シテ無辜ノ者ヲ虐スル是ナリ

七索賚即チ給俸賃銀ヲ受ケ之ニ適應スル職務工作ヲ爲シテ漫ニ給俸賃銀ヲ奪取シテ社會或ハ主人ニ利益ヲ來サハルノミナラズ却テ損耗ヲ被ラシムルモノ又ハ

操作勞動ヲ自己ノ口ヲ糊スルノ力アルモノ辛苦勞動ヲ厭ヒ他人ノ扶施ヲ受テ過活スルモノ是ナリ

八責求即チ權利通義アルヲ名トシ其實ハ公正仁愛ヲ破リ以テ他人ノ所有物若シハ勞働ヲ奪ヒ自己ノ爲ニシ甚シキハ隣ノ不幸災禍ヲ以テ己ノ利益ヲスル是ナリ例ハ債主高利ヲ以テ負者ニ課スルカ如キ領主其管屬ノ者ニ過分ノ租稅ヲ課シ或ハ非常ノ勞働ヲ命ジ之ヲシテ疲困セシムルカ如キ又ハ凶歳ニ乘シ分外ノ高價ヲ以テ穀類ヲ賣出スカ如キ是ナリ

問是等ノ罪ヲ禁セハ之ニ克タンニ何ノ善行ヲ命スルヤ

答一清廉

二信實

三公義

四貧者ニ愛憐ヲ施ス

問貧者ニ愛憐ヲ施サハル者ハ第八誡命ニ違犯スルニ非ズヤ

答實ニ然リ若シ貧者ヲ扶クルノ資アリ而シ之ニ施サハル者固リ此罪ヲ免レズ蓋シ我有スル所ハ特リ神ニ屬ス天意餘慶ヲ我等ニ賜與セラルハ貧者ヲ救助スルカ爲ナリ是故ニ若シ我餘慶ヲ以テ貧者ニ分給セザレハ則チ貧者ノ固有物及ビ神ノ恩賜ヲ攘取竊藏スルモノナリ

問其他第八誡命ニ悖ルノ罪ニ相反シタル最上ノ善行アラザルヤ

答福音書ニ斯善行ヲ載ス即チ自ラ全ク貧困トナルコトナリ乃チ凡ソ所有物ヲ絶棄スルノ謂ナリ但シ斯善行ハ一般衆人ノ必ズ盡スベシト云フノ職務ニ非ズ唯敬虔ノ功德ヲ熱心渴望スル者ニ對シテ云フ所ノ勸諭ナリ

○第九誡命

問第九誡命ニ於テ禁スル所ハ何ゾヤ

答隣ヲ妄證シ并ニ都テ詐僞ヲ言フヲ禁ス

問妄証ト云ヘルヲ以テ何ヲ禁スルヤ

答一裁判ノ妄証即チ詐僞ヲ以テ人ヲ保證シ或ハ訴訟スルヲ云フ

二審院外ノ妄証即チ隱ニ人ヲ毀謗シ或ハ面前ニ於テ人

不正ニ非難スルヲ云フ
問他人實ニ不善アラバ之ヲ誹議スルヲ許サレハヤ
答福音書ニ我若シ隣ヲ譴責スルニキ特別ノ職務アルニ非ル
ヨリハ隣ノ不善缺所ヲ譴スルヲ許サズ
「人ヲ譴スル勿レ爾等譴セラザルヲ致ス」(マト一フイ)

問隣ヲ害スルノ志ナシ詐僞ナルハ許サレザルヤ
答許レザルナリ蓋シ詐僞ハ其精神ヲ原スレバ隣ヲ親愛尊
敬スルノ本意ニ相反シ又人間ノ位ニ適應セズ况ヤ眞實

ト愛ノ爲ニ造ラレシハリステイアエニ適應セザル所ナリ
「故ニ宜シシ謊ヲ去リ人各々隣ト眞チ言フヘシ蓋シ我等
互ニ相肢タルナリ」(エフエス五)

問第九誡命ニ悖ルノ罪ヲ避ケ易ラシカ爲ニ何ヲ恪守スベ

キヤ

答宜シク舌ヲ捫ヌス

「凡ソ生チ愛シ而シ佳日ヲ見シト欲スル者ハ宜シク惡チ
其舌ヨリ禁メベシ其口詭譎ヲ言フ勿レ」(ペト前)

「若シ爾等ノ中自ラ虔恭ト謂ル者アリ而シ其苦ヲ捫セズ
乃チ自ラ其心ヲ欺カバ則チ其虔恭徒然」(イノサコ六)

○第十誡命

問第十誡命ニ於テ禁スル所ハ何ゾヤ

答隣ニ對スルノ愛ニ悖反スルノ望及ビ恨ニ之ト相伴フテ
離レザル者所謂此愛ニ悖ルノ思念ヲ禁ス

問何爲邪惡ノ所行ノミナラス亦邪惡ノ望及ビ思念ヲ禁ス
ルヤ

答第一ニ心靈邪惡ノ望及ヒ思念ヲ有スレバ業己ニ神前ニ
 在テ潔カラズ神ニ宜シカラザルナリソレモシノ曰ルカ
 如シ「惡人ノ圖惟主ノ惡ム所タリ」ト（箴言二十六）是故ニ是等
 ノ心中ノ不淨ヲ清除スルヲ切要トス使徒ノ訓ルカ如シ
 「宜シク自ラ凡ソ肉ト靈ト汚チ潔ウシ且神ヲ畏ル、チ以
 テ聖トナルベシ」（コリント一七）
 第二ニ罪惡ノ所行ヲ豫防セント欲セバ罪惡ノ望及ヒ思
 念ヲ抑制スルヲ要ス此望及ヒ思念ハ恰モ種子ノ如ク罪
 惡ノ所行ヲ生スルヲ以テナリ録ニ言ルカ如ク「心ヨリ出
 ル者ハ惡念凶殺姦淫苟合攘竊妄証謗訕ナリ」（マテオ九）
 「凡ソ己ノ慾ノ爲ニ攝セラレ餌セラル、者乃チ誘ハル、
 ナリ慾既ニ成レバ則死亡チ生ス」（イテコ四十五）

問何ニ論ナシ凡ソ隣ニ屬スル物ヲ願望スルヲ禁ストセバ
 隣ニレ果シ何テ情慾ヲ禁スルヤ

答嫉妬

問「爾ノ隣ノ妻ヲ戀ラ勿レ」ト云ルヲ以テ何ヲ禁スルヤ

答醜穢ノ思想及ビ慾望即チ心中ノ邪淫ヲ禁ス

問「爾ノ隣ノ屋宅其田莊僕婢牛驢及凡ソ家畜并ニ凡爾ノ隣

ノ有ニスル所ノ者ヲ食ル勿レ」ト云ルヲ以テ何ヲ禁スルヤ

答食利寡勢ノ思想慾望ヲ禁ス

問第十誡命ハ此禁制ニ應シテ何ノ職務ヲ命スルヤ

答一心ヲ潔白チ守ルベキ

二己ノ命運ニ安スベキ

問心ヲ淨ムルニ最緊要ノ者ハ何ゾヤ

答我主曰「オススリヌト」名々屢々熱切ニ呼稱スル

○結局

問宿敵敬虔ノ敬ヲ受用ヲ論ス

答既中職ル所行ハザルハ之カ爲重罪被ラシテ恐レ

爾等若シ此ヲ知テ之ヲ行ハバ則チ罪ナシ

「僕其主ノ意ヲ知テ預備セズ其意ニ順ハザル者ハ扑レ

問自ラ罪惡ヲ省ルニテ何ヲ爲シテ可ナルヤ

答即時ニ痛悔シ爾後此罪惡ヲ禁遏ス堅忍不屈ノ心ヲ起

「ルカ十四」

「ルカ十七」

「ルカ十七」

「ルカ十七」

「ルカ十七」

「ルカ十七」

「ルカ十七」

「ルカ十七」

「ルカ十七」

「ルカ十七」

「ルカ十七」

「ルカ十七」

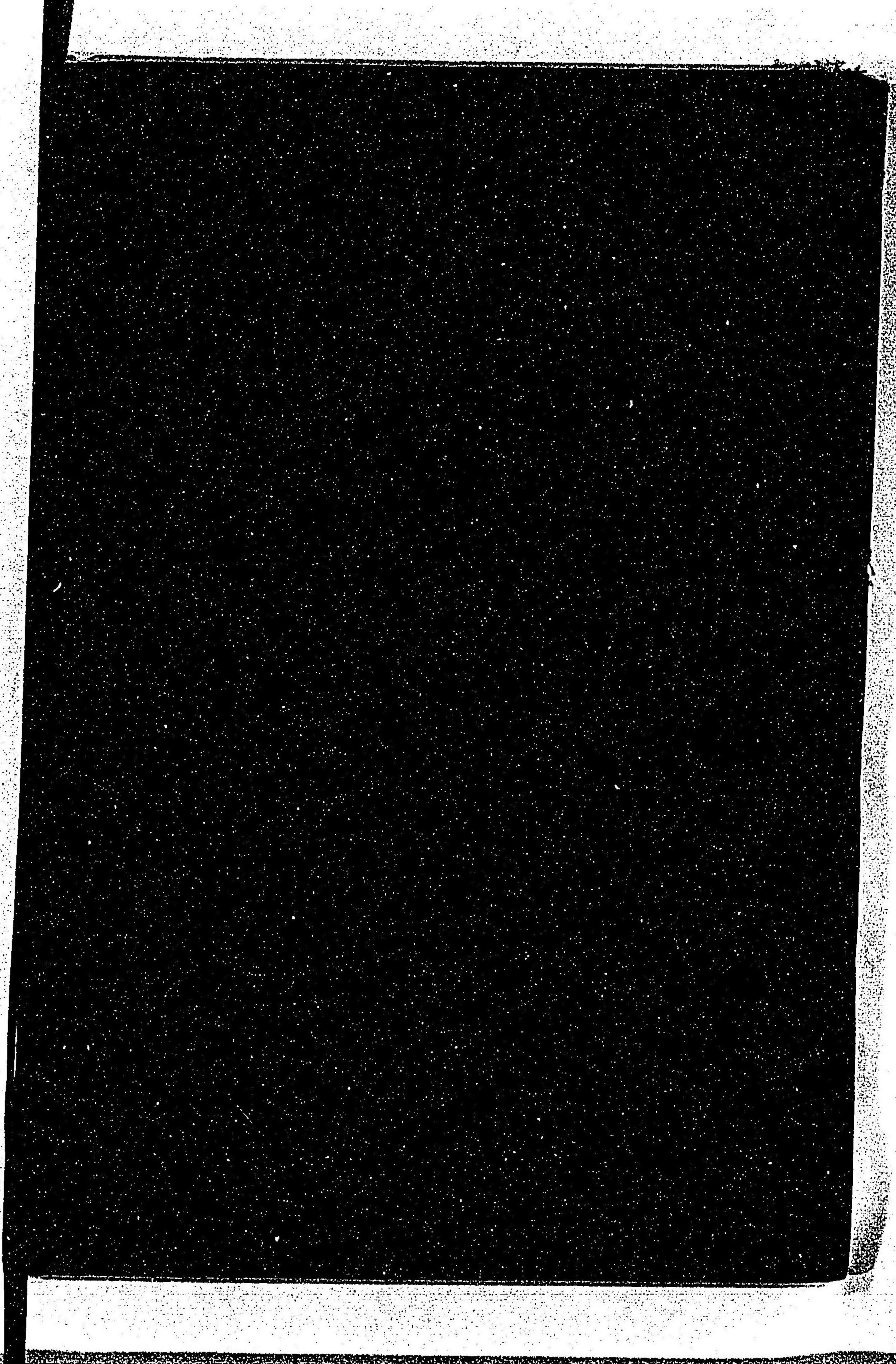
「ルカ十七」

「ルカ十七」

「ルカ十七」

正教訓蒙終

27
1
60



020871-000-4

特18-613

正教訓蒙

非刺列徒/著

M19

ABI-0704



